

ステン硼素棒たらしむることを特徴とし、最後に機械的作業に依り織條を形成せしむる方法。二、金屬タングステン粉末に炭素を加へ之を棒狀に形成して硼酸液中に浸し、攝氏千度乃至千二百度に加熱し、次に水素氣流中に於て電流を通して攝氏千二百度乃至二千度に加熱する請求範圍第一項の方法。三、タングステン及炭素を硼酸にて處理し、後硼酸を還元して硼素或は硼素カーバイトに變したるタングステン硼素織條となす請求範圍第一項の方法。

## 商 況

### ○米國金物市況 「十二月——一月中旬」

十二月後半に鋼の市價一時落着きて、或は頭打に非すやと思はれしか、今となれば全くクリスマス前後休日續きの爲なりし事明となれり、普通祭日相場は一月中旬頃まで續きて沈靜動かさるものなれとも、今回は早くも年初第一週に於て鋼精製品數種の價格上騰し始めたり、過日の沈靜は各製造所か連次の騰貴に賣る丈のものは賣盡し、生産能力以上の賣約をなし幾分賣越の姿なる故一寸手控へ、買手も買疲れの爲め手を休めたるに困る、新年となれば人氣更新し、祭日相場終了後は一般に實際の價位よりも高氣配を現はすものなるか、本年の鋼價騰貴は其位の事に止まらずし

て、舊臘先約定せし今春出來の品よりも遙かに高價を示せり。

十二月中の船積運賃は又々最高レコードを示し、其契約は何れも特定契約にして且つ餘程早くより取結ひしものなり、斯く船腹不足の爲め各鏡道何れも東海岸の終點に於て貨車に滿載せる儘立往生せる有様にて、其荷捌の付かざる間は出荷を差控へたるに由り、十二月中各製鋼工場より直接輸出する鋼の船積頗る減退せり、其結果として内地向用途に振向けられたるもの相應に多く、實際鋼の缺乏に苦める内地向製造家は時こそ來れと續々引取りつゝあり。

一月の第一週中には下の通り鋼價騰貴せり、即ち桿及板は一噸に付一弗、標準鋼管、線、管、石油用品等は一―二弗、ボイラーチューブ四弗、青色燒鈍薄板三弗、軌條及小スパイク三弗、冷間延壓ストリップ五弗、リベット二弗、ポルト及ナット一割高なり。

鋼塊は年額四千萬乃至四千百萬噸位製出せられ、而して平爐の新設續々ありて、其中半分は本年後半季より作業し得へければ、産額一割餘を増加すべく、且つ其精製工場も亦た之れに比例して新設せらるゝか如し、銑鋸も亦た頗る拂底せる故十箇所許りの熔鑛爐新設計畫せらる、銑鐵及スクラップも最近著しく騰貴せしか、此等の新設計畫一齊に完成操業の上は現在の缺乏を補ふことを得へし。

合衆國鐵鋼組合は十二月末に於て約定せし丈のものを引

渡す能はさりし由なるか、一月十日に於ける未引渡高七百八十餘萬噸にして、十二月末の額より多き事六十一萬五千餘噸なり、普通一箇月の賣品製出高約百二十二萬噸なれば一月に入りて増加せし未引渡高は生産力の五割に相當せり而して船腹の要求は尙一層多く、約十五割の増加なり、斯業の變態を呈せること推して知るへし。

銑鐵 一月は月初以來意外に落着き居れり、されと市面は結局先高を見越し氣配強調なり、而して十二月中は急騰して平均一噸百五十弗に達せしとは云へ、是れにて天井を衝きたりとも思へす、尤も各製鐵所は數月間善く賣續き、船積契約も盛に取結はれたり、市場の唱値左の如し。

二號鑄物銑フィラデルフィア渡し	一九・七五—二〇・二五
同バファロー鑄鐵爐渡し	一八・〇〇—一八・五〇
同クリブランド渡し	一八・八〇
同シカゴ鑄鐵爐渡し	一八・五〇
同バーミンガム渡し	一五・〇〇—一五・五〇
パレー鑄鐵爐渡し(ピッツブルグ渡しはこれより九十五仙高)	二一・〇〇—二一・五〇
ベセマー銑	一八・〇〇—一八・五〇
ペーシック銑、鑄物用及 マレーアル錠フォージ	

鋼 軟鋼片は其常使用者大抵價格遙かに低廉なる時に先約定を取結ひたるを以て、現今市場にて取引せらるゝ範圍極めて狭く、ベセマー三二—三三弗、平爐製三五弗なれとも、斯る高價を拂ひて製したる品の價格不引合なること勿論なれば、餘程特殊の事情あるに非されは之れを買ふものなし、薄板用鋼桿は鋼片と同一事情にて、其唱値も亦同し

けれども、全くノミナル相場にて實際の取引なし、普通鍛鋼片は殆ど相場立たず、軍用に適する品は五十弗或はそれ以上なり、ロッドはピッツブルグにて多分四十弗より四十四弗の間にて取引せらるゝならん。

### ○英國金物市況 『十二月下旬』

銑鐵 英國にては昨今政府の發議により、民間當業者と協議して鐵鋼、鐵鑛及骸炭の價格を制限し、其標準價格及最低價格を定めんとし着々進行中なり、隨て市場の注意此一點に集り、只管其成行を凝視しつゝあり、當業者の利害一致せざる故價格の折合點を發見する事困難なれとも、さりとて一國存亡の危機に際せること故、存外容易に纏まるやも料られず、斯様の次第にてクリスマス前數日間は人氣の浮沈あり乍ら取引は格別多く行はれさりき、多分年内此有様にて経過するならん、一般の状態を考察するに、今回開戦の爲に經濟狀態の自然的調節行はれず、殊に軍器製造用へマタイト鐵の需要莫大なる爲め、其取引に變態を起し人為的價格の變動甚だし、されと銑鐵製造者は鞏固なる地位に立つといふ次第なり、現在の状態にては、各種鐵類何れも製出すると同時に右から左に賣行く有様なるか、ヘマタイトに至りては一層好況にして、實際市上に流出するもの無く、製造家は來年四、五、六月頃産出の分を先約定せる有様にて、勿論國外輸出は絶対に禁止せらるゝ、運賃は今尙